東京都、コロナ発生届の項目削減案の見直しを要望

#新型コロナ #東京 #関東

2022/5/27 2:00

モニタリング会議後に記者団の取材に応じる小池知事=東京都提供

東京都の小池百合子知事は26日、厚生労働省が示した新型コロナウイルス感染者の発生届の簡素化案について、「あまりにも大胆に削りすぎている」と述べた。症状や感染経路などを報告項目から外す内容で、都は今後の健康観察や入院調整に影響が生じるとみている。都は国に見直しを求めている。

医師は患者のコロナ感染がわかると、感染者情報の一元管理システム「HER-SYS（ハーシス）」に入力して届け出る。厚労省は25日、これまで必須項目としていた症状や診断方法、感染経路などを6月末から任意項目に変更する案を示した。入力作業を担う医療機関の負担軽減が狙いだ。

都が26日に開いた感染状況を分析するモニタリング会議の終了後、医療関係者からは「（簡素化は）ありがたいことにはありがたいが、重要な情報がなくなるのは困る」との声が聞かれた。